

「新郷の里」を守る視点から

守る視点から

丑久保 恒行議員

はどのようなか。

・質問 「新郷の里」を守る視点から次の点について伺いたい。

・認定農業者に対する支援策はどのようなか。

「彩のかがやき」の作付に関する本年度の状況はどのようなか。

担い手育成のための支援策

・答弁 (経済環境部長)

認定農業者に対する国の支援は、低利資金の融資、農地

利用等の集積支援、農業者年金や税制上の特例などがある

市の単独支援としては、栽培技術向上のための研修会の開催、水稲作付面積配分の優遇

産地づくり交付金配分の優遇、大区画化への畦畔撤去助成などがある。

今後、有効利用を図るために効果的な支援策を策定していきたい。

平成十六年に新たな米政策改革がスタートし、水稲については、新品種である「彩のかがやき」を振興品種に定め

たところであり、本年度の作付面積は、県全体で約三千ヘクタール、北埼玉地区で約千五百ヘクタール、羽生市で約四百五十ヘクタールとなってい

る。若い人が農業に魅力を感じ、積極的に進出してくれるような条件整備を整えることが、

これからの農業に最も重要であり、必要であると考えている。このようなことから、現

在、市では担い手等営農体制整備事業を実施しているが、

近隣には、このような事業を実施している市町村はなく、

羽生市独自の事業と言える。内容については、新規営農

集団が機械等の設備を導入する場合に四分の一を補助する

制度である。

その他の質問

・市民サービスの充実に向け

て

・危機管理について

・認定農業者とは

効果的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者

みずから「農業経営改善計画」を策定し、その計画が適正として市に認定された者。

現在、羽生市では百六名が認定されています。

その他の質問

・介護保険の負担軽減について

・水郷公園内に釣り場を設置することに

・災害に強い街づくりについて

・アスベストとは

アスベストは、石綿(せきめん、いしわた)とも呼ばれ、天然の鉱物繊維です。

代表的なものは、白石綿、青石綿、茶石綿の三種類があります。

アスベスト問題

について

落合 信夫議員

・質問 アスベストによる健康被害が相次いでいるが、自治体

が取り組むアスベスト対策の財源確保や住民の予防対策

に対する財源措置を政府に強く求めていくべきであると

考えるが、見解を伺いたい。

・答弁 (助役)

アスベスト問題については、

本市においても曙ブレーキ工業株式会社羽生製造所の新聞

報道など、住民の健康被害が懸念される極めて重要な問題

であるため、庁内にアスベスト問題対策委員会を設置し、

相談窓口の対応の明確化、住民への影響と対応策、公共施設

の実態調査、新聞報道の内容

容に対する実態解明などについて検討、実施をしているところである。

曙ブレーキ工業株式会社に

対しては、文書により、相談窓口の設置、退職者や工場周

辺住民の健康調査・健康診断の実施などについて要請をし、

その結果、相談窓口が開設され、退職者や工場周辺住民の健康診断が実施されているところである。

今後、曙ブレーキ工業株式会社と連絡を取り合い、引き続き健康被害の実態の究明、

引き

周辺住民の健康診断の実態など企業責任の立場から、適切な対処がされるよう強く要請していきたい。

また、国においてもアスベストに対する当面の対応を打ち出し公表しているが、自治

体としては一刻も早い対応を望んでおり、本市としては、

建物の解体、修繕に伴う飛散防止対策や公共施設の調査に

対する財源支援、住民の被害救済制度などについて政府に

対して強く要望していきたいと考えている。